

第 1 次実施計画における成果指標一覧

No.	分野	政策	施策	分類	成果指標	単位	R3 (2021) 末実績値	R7 (2025) 末目標値	指標の定義 (値の算出方法)	目標設定の考え方	数値の把握方法	把握できる時期	関係する実施計画事業	関係する実施計画外事業
11101	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	—	基本目標	温室効果ガス排出量削減率 (2013年度比)	%	13.3	25.3	市域から排出される温室効果ガスの排出量を基準年度の排出量と比較した削減率 (各年)	千葉市地球温暖化対策実行計画 (R5~R12) の目標値から設定 (2050年カーボンニュートラルからのバックキャストで目標を設定)。	温室効果ガス排出量算定・報告書等から当該年度の排出量を算出	毎年10月頃		
11102	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	—	基本目標	市民 1 人 1 日あたりの一般廃棄物総排出量	g	947	921	家庭及び事業者が排出するごみ・資源物の年間総排出量を、人口・年間日数で除した値 (各年)	千葉市一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画 (R5~R14) の目標値から、R7末目標値を設定。	所管課による集計	毎年8月頃		
21111	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	1-1-1 地球温暖化対策の推進	K P I	再生可能エネルギー等の導入量	ペタジュール	0.85	1.2	市域で創出された再生可能エネルギー等 (各年)	千葉市地球温暖化対策実行計画 (R5~R12) の目標値から、R7末目標値を設定。	資源エネルギー庁ホームページ (再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト)	毎年8月頃	①都市型再生可能エネルギーの導入、②市有施設における電力のCO ₂ フリー化、③動物公園の環境負荷低減の推進、④下水道の資源・エネルギー利用の推進	
21112	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	1-1-1 地球温暖化対策の推進	K P I	脱炭素社会の実現に向けた連携協定締結者数	者	0	100	脱炭素社会の実現に向けた連携協定を締結した事業者の数 (累計)	現行の「地球環境保全協定」を締結している事業者約840者のうち、毎年50者が新たな制度での締結を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	市内事業者の脱炭素化支援・エコパートナーの推進	
21113	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	1-1-1 地球温暖化対策の推進	K P I	次世代自動車導入事業等補助金交付件数	件	87	158	次世代自動車導入事業補助金交付要綱等に基づき、次世代自動車 (EV・PHV・FCV) を購入した市民に補助金を交付した件数 (各年)	車種ごとに実績や今後の需要増を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	エコ・モビリティの推進	
21114	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	1-1-1 地球温暖化対策の推進	K P I	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) 普及促進事業補助金交付件数	件	43	100	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス普及促進事業補助金交付要綱に基づき、ZEHを導入した市民に補助金を交付した件数 (各年)	100件の助成を着実に実施することを想定し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化の推進	
21121	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	1-1-2 自然環境・生活環境の保全	K P I	谷津田の保全活動等の参加者数	人	167	290	谷津田で実施される観察会の参加者数及び谷津田の保全活動に携わるボランティア活動者の人数 (各年)	自然観察会の参加者数やボランティア活動者の増加を見込み、目標値を設定。	自然観察会の開催実績及び保全活動団体からのボランティア活動者数の報告	毎年6月頃	①生物多様性の理解促進と普及啓発、②谷津田の保全と活用の推進	
21122	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	1-1-2 自然環境・生活環境の保全	K P I	大気環境目標値 (健康項目) 達成率	%	95.5	100.0	千葉市環境基本計画にて設定している大気に係る環境目標値の達成割合 (各年)	千葉市環境基本計画 (R4~R14) で目標値を設定している大気に係る項目について、環境目標値の100%達成及び維持を旨とし、目標値を設定。	所管課による集計	毎年8月頃	大気保全対策の推進	
21123	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	1-1-2 自然環境・生活環境の保全	K P I	水質環境目標値 (健康項目) 達成率	%	100.0	100.0	千葉市環境基本計画にて設定している水質 (健康項目) に係る環境目標値の達成割合 (各年)	千葉市環境基本計画 (R4~R14) で目標値を設定している水質 (健康項目) に係る項目について、環境目標値の100%達成及び維持を旨とし、目標値として設定。	所管課による集計	毎年8月頃	水質保全対策の推進	
21124	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	1-1-2 自然環境・生活環境の保全	K P I	水質環境目標値 (生活環境項目) 達成率	%	72.2	100.0	千葉市環境基本計画にて設定している水質 (生活環境項目) に係る環境目標値の達成割合 (各年)	千葉市環境基本計画 (R4~R14) で目標値を設定している水質 (生活環境項目) に係る項目について、環境目標値の100%達成及び維持を旨とし、目標値を設定。	所管課による集計	毎年8月頃	水質保全対策の推進	
21131	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	1-1-3 環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理	K P I	一般廃棄物の焼却処理量	トン/年	232,690	227,000	家庭・事業者から排出され清掃工場で焼却処理された可燃ごみと、不燃ごみ・粗大ごみのうち破碎処理して焼却処理された年間総量 (各年)	千葉市一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画 (R5~R14) の目標値から、R7末目標値を設定。	所管課による集計	毎年8月頃	①3R教育・学習の推進、②ごみの発生抑制・再資源化の推進	
21132	1 環境・自然	1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	1-1-3 環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理	K P I	一般廃棄物の再生利用率	%	33	33	一般廃棄物の総排出量 (資源物を含む) に対する再生利用量の割合 (各年)	千葉市一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画 (R5~R14) の目標値から、R7末目標値を設定。	所管課による集計	毎年8月頃	①3R教育・学習の推進、②ごみの発生抑制・再資源化の推進	
11201	1 環境・自然	1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	—	基本目標	緑と水辺のまちづくり活動への参加度	%	29.6	34.8	緑と水辺のまちづくり活動に参加した市民の割合【アンケート】 (各年)	R14に50%の達成を旨とし、R7末の目標値を設定。	WEBアンケート	毎年1月頃		
11202	1 環境・自然	1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	—	基本目標	緑被率	%	48.6	現水準を保つ (±1%)	全市域の面積に対する緑被地 (樹林地、草地及び耕作地) の割合 (各年)	開発などによって緑が消滅しやすく、緑被率の向上は困難であるため、現在の水準を保つ考えのもと目標値を設定。	業務委託	R7年度末 (以降、5年ごと)		
21211	1 環境・自然	1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	1-2-1 緑と水辺の活用と充実	K P I	大規模な公園の利用者数 (有料施設)	万人	2,924	3,011	千葉公園、蘇我スポーツ公園、花島公園、泉自然公園、昭和の森、幕張海浜公園、稲毛海浜公園、青葉の森公園 (スポーツプラザ) 及び動物公園の有料施設利用者数 (各年)	指定管理施設は、指定管理者の事業計画、民間施設は、民間事業者の事業計画に基づき目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	①千葉公園の再整備、②千葉市蘇我スポーツ公園の充実、③花島公園の魅力向上、④泉自然公園の魅力向上、⑤昭和の森の魅力向上、⑥幕張海浜公園の活性化、⑦稲毛海浜公園のリニューアル、⑧有料公園施設の改修、⑨動物公園リスタート構想の推進、⑩動物公園の施設改修	
21212	1 環境・自然	1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	1-2-1 緑と水辺の活用と充実	K P I	老朽化した遊具の更新数	基	727	1,007	老朽化した遊具の更新基数 (累計)	過去の実績から、R4~R7に280基更新することを見込み、目標値として設定。	所管課による集計	毎年3月頃	①身近な公園のリフレッシュ推進、②水(水辺)の特性を活かした公園の魅力向上	
21213	1 環境・自然	1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	1-2-1 緑と水辺の活用と充実	K P I	生産緑地地区の新規・追加指定地区数	地区	2	2	市街化区域内にある緑地機能の優れた農地等を計画的に保全し、良好な都市環境の形成に資することを目的として都市計画で新規・追加指定した地区数 (各年)	近年の実績が平均0~1件/年のため、3年間で2件増を目指して目標値を設定。	所管課による集計	毎年12月頃	農と住の調和したまちづくりの推進	
21214	1 環境・自然	1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	1-2-1 緑と水辺の活用と充実	K P I	動物公園入園者数	千人	689	700	千葉市動物公園に入園した人数 (各年)	H22以降の最高の来園者数であったR3実績値の維持・増加を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	①動物公園リスタート構想の推進、②動物公園の施設改修	

第1次実施計画における成果指標一覧

No.	分野	政策	施策	分類	成果指標	単位	R3(2021)未実績値	R7(2025)未目標値	指標の定義(値の算出方法)	目標設定の考え方	数値の把握方法	把握できる時期	関係する実施計画事業	関係する実施計画外事業
21221	1 環境・自然	1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	1-2-2 緑の保全と創出	K P I	公園の管理・運営に関わる市民・企業等の団体数	団体	317	321	清掃協力団体、パークマネジメント団体、市民緑地維持管理団体、市民の森清掃協力団体の合計数(累計)	年間で1公園増とすることを見込み、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	①泉自然公園の魅力向上、②昭和の森の魅力向上、③幕張海浜公園の活性化、④稲毛海浜公園のリニューアル、⑤身近な公園のエリアリノベーション、⑥身近な公園の整備、⑦都市における樹林地の保全と活用、⑧緑と花を楽しめるまちづくり	
21222	1 環境・自然	1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	1-2-2 緑の保全と創出	K P I	花いっぱい市民活動団体数	団体	498	502	花いっぱい市民活動への参加団体数(累計)	緑や花の量的拡大や質的向上を目指し、2団体/年程度の増加を目標値として設定。	所管課による集計	毎年11月頃	緑と花を楽しめるまちづくり	
21223	1 環境・自然	1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	1-2-2 緑の保全と創出	K P I	オオガハス関連イベント来場者数	人/年	15,900	30,000	オオガハス関連のイベントへの来場者数(各年)	過去の実績を参考に、毎年1割程度の増を目指し、目標値を設定。	現地調査	毎年8月頃	オオガハスの魅力発信	
21231	1 環境・自然	1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	1-2-3 水辺環境の保全と活用	K P I	多自然川づくりの整備延長	m	9,719	11,759	多自然川づくりで整備した河川の整備延長(累計)	多自然川づくりによる計画期間中における事業量を踏まえ、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	流域治水の推進	
12101	2 安全・安心	2-1 災害に強いまちの基盤を整備する	—	基本目標	耐震性のある住宅の割合	%	91	95	全ての住宅のうち、建築基準法の耐震基準に基づく耐震基準を満たしている住宅の割合(各年)	第3次千葉市耐震改修促進計画(R3~R7)において国の基本方針をもとに目標を設定し、同じ目標値を設定。	住宅土地統計調査	R6年10月頃(以降、5年ごと)		
12102	2 安全・安心	2-1 災害に強いまちの基盤を整備する	—	基本目標	雨水重点地区整備率	%	0	31	千葉市雨水対策重点地区整備基本方針で雨水対策重点地区に指定した13地区のうち、貯留施設等の対策施設がある地区の割合(累計)	千葉市雨水対策重点地区整備基本方針(H30~R19)に基づき、13地区の重点地区における事業量を踏まえ、目標値を設定。	所管課による集計	適宜		
22111	2 安全・安心	2-1 災害に強いまちの基盤を整備する	2-1-1 風水害対策の推進	K P I	急傾斜地崩壊防止施設の整備延長	m	1,562	2,262	急傾斜地崩壊危険区域に指定された箇所における崩壊防止施設の整備延長(累計)	過去の整備実績を踏まえ、3年以内での完了を目指した目標値として設定。	所管課による集計	適宜	急傾斜地崩壊対策の推進	
22121	2 安全・安心	2-1 災害に強いまちの基盤を整備する	2-1-2 地震等に対応した生活インフラの適切な整備・管理	K P I	下水道管の耐震化率	%	74.0	90.0	千葉市下水道総合地震対策計画で設定した重要な幹線のうち、耐震化済みの管渠延長の割合(累計)	千葉市下水道総合地震対策計画(R4~R8)に基づく事業量を踏まえ、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	下水道施設の耐震化	
22122	2 安全・安心	2-1 災害に強いまちの基盤を整備する	2-1-2 地震等に対応した生活インフラの適切な整備・管理	K P I	上水道管の耐震化率	%	42.7	45.4	上水道管の総延長のうち、耐震管の延長の割合(累計)	千葉市水道事業中長期経営計画(R3~R12)に基づく3か年の予定事業量を踏まえ、目標値を設定。	所管課による集計	毎年10月頃	水道管路の耐震化	
22123	2 安全・安心	2-1 災害に強いまちの基盤を整備する	2-1-2 地震等に対応した生活インフラの適切な整備・管理	K P I	高速道路のI Cから災害拠点病院を結ぶ区間の無電柱化された道路延長	km	0	3.4	高速道路ICから災害拠点病院を結ぶ区間における無電柱化された道路延長(累計)	千葉市無電柱化推進計画(R元~R10)に基づき、R7未までに未整備区間である青葉町地区(道路延長1.6km)及び幕張地区(道路延長1.8km)の無電柱化を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	無電柱化の推進	
12201	2 安全・安心	2-2 多様な主体の連携による防災力を高める	—	基本目標	自主防災組織結成率	%	59.9	65.1	全世帯数のうち、自主防災組織に加入している世帯数の割合(累計)	結成率の直近のピークであるH27の数値を目標として設定。	所管課による集計	適宜		
22211	2 安全・安心	2-2 多様な主体の連携による防災力を高める	2-2-1 災害対応体制の強化	K P I	避難所におけるマンホールトイレ整備数	箇所	140	188	マンホールトイレを整備した避難所の箇所数(累計)	市立学校及び指定避難所である県立学校への整備完了を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	避難所の環境整備	
22221	2 安全・安心	2-2 多様な主体の連携による防災力を高める	2-2-2 市民の防災意識と地域防災力の向上	K P I	避難所運営委員会設置率	%	98.5	100.0	避難所のうち、避難所運営委員会が設立された避難所の割合(累計)	すべての避難所での設置を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	稲毛区地域防災力の推進	
22222	2 安全・安心	2-2 多様な主体の連携による防災力を高める	2-2-2 市民の防災意識と地域防災力の向上	K P I	避難所運営委員会の女性委員率	%	28.9	35.0	避難所運営委員会の委員数に占める女性委員の割合(各年)	年2%ずつの増加を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	-	避難所運営委員会の設立支援
22223	2 安全・安心	2-2 多様な主体の連携による防災力を高める	2-2-2 市民の防災意識と地域防災力の向上	K P I	防災ライセンス講座受講者数	人	1,371	1,771	千葉市防災ライセンス講座を受講し、修了証の交付を受けた人数(累計)	直近3年間の平均受講者数が140人/年のため、年10人増を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	-	防災ライセンス講座・防災ライセンス・スキルアップ講座の開催
22224	2 安全・安心	2-2 多様な主体の連携による防災力を高める	2-2-2 市民の防災意識と地域防災力の向上	K P I	個別避難計画作成数	件	34	1,134	個々の避難行動要支援者に応じた個別避難計画の作成数(累計)	避難行動要支援者名簿に掲載されている方のうち、特に優先度の高い方の計画を1,000件分作成することを見込み、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	避難行動要支援者の支援体制強化	
12301	2 安全・安心	2-3 消防・救急体制を充実・強化する	—	基本目標	人口1万人当たりの建物火災の出火件数	件	1.4	1.3	人口1万人当たりの建物火災の出火件数(各年)	首都圏政令市の建物火災の出火率(R2~R4見込みの平均)を目標値として設定。	所管課による集計	毎年3月頃		
12302	2 安全・安心	2-3 消防・救急体制を充実・強化する	—	基本目標	心肺機能停止傷病者の救命率	%	11.1	15.7	一般市民が目撃した心原性心肺停止傷病者のうち、1か月後に生存が確認された傷病者数の割合(各年)	コロナ禍前の政令指定都市の平均値を目標値として設定。	所管課による集計	毎年10月頃		
22311	2 安全・安心	2-3 消防・救急体制を充実・強化する	2-3-1 消防力の充実・強化	K P I	消防団員の充足率	%	84.9	85.0	消防団員の定員数に対する充足率(各年)	全国的に消防団員は減少傾向にあることから、充足率の維持を目指し、目標値として設定。	所管課による集計	適宜	機能別消防団員制度の導入	
22321	2 安全・安心	2-3 消防・救急体制を充実・強化する	2-3-2 救急需要への対応強化	K P I	救急隊の平均現場到着時間	分	9.4	9.4	救急要請の入電から現場に到着するまでの平均所要時間(各年)	首都圏政令市の平均値と今後の救急出動増加を考慮し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年10月頃	ICTを活用した救急業務の推進	
22322	2 安全・安心	2-3 消防・救急体制を充実・強化する	2-3-2 救急需要への対応強化	K P I	心肺停止傷病者に対する市民による応急手当実施率	%	44.7	55.0	心肺停止傷病者に対する市民による応急手当の実施率(各年)	政令指定都市の平均値を目標値として設定。	所管課による集計	毎年10月頃	応急手当の普及啓発	
22331	2 安全・安心	2-3 消防・救急体制を充実・強化する	2-3-3 火災予防の推進	K P I	住宅用火災警報器の設置率	%	83	90	住宅用火災警報器が設置されている住戸の割合【アンケート】(各年)	各種施策の効果及び新築の設置率向上を考慮し、目標値を設定。	アンケート調査	毎年6月頃	-	防火対策の普及啓発
22332	2 安全・安心	2-3 消防・救急体制を充実・強化する	2-3-3 火災予防の推進	K P I	感震ブレーカーの設置率	%	8.4	25.0	密集住宅市街地の住戸のうち、感震ブレーカーが設置されている住戸の割合(累計)	国で定めている首都直下地震緊急対策推進基本計画における感震ブレーカーの普及率を目標値として設定。	所属課による集計	毎年3月頃	感震ブレーカーの設置推進	
12401	2 安全・安心	2-4 安全・安心な市民生活を守る	—	基本目標	交通事故死傷者数	人	2,576	2,200	市内で発生した交通事故における死者数・負傷者数の合計(各年)	過去の推移を踏まえ、3年で15%程度の減を目標値として設定。	千葉県警察ホームページ	毎年3月頃		

第1次実施計画における成果指標一覧

No.	分野	政策	施策	分類	成果指標	単位	R3(2021)末実績値	R7(2025)末目標値	指標の定義(値の算出方法)	目標設定の考え方	数値の把握方法	把握できる時期	関係する実施計画事業	関係する実施計画外事業
12402	2 安全・安心	2-4 安全・安心な市民生活を守る	—	基本目標	刑法犯認知件数	件	5,829	5,100	市内で発生した刑法犯の認知件数の合計(各年)	政令指定都市平均の10万人当たり件数(518件)を達成することを目指し、目標値を設定。	千葉県警察への照会	毎年3月頃		
22411	2 安全・安心	2-4 安全・安心な市民生活を守る	2-4-1 防犯対策の推進	KPI	千葉市の治安が良いと感じる人の割合	%	84	87	「千葉市の治安が良いと感じますか」の質問に対し、肯定的に回答した人の割合【アンケート】(各年)	計画期間中に毎年度、前年度の数値1ポイント上回ることを目指し、目標値を設定。	アンケート調査	適宜	①市民主体の防犯活動促進、②防犯対策の強化、③地域安全に関する講座等の実施	
22412	2 安全・安心	2-4 安全・安心な市民生活を守る	2-4-1 防犯対策の推進	KPI	防犯カメラ設置支援台数	台	144	340	千葉市防犯カメラ設置補助金交付要綱に基づき交付し、設置された防犯カメラの台数(累計)	新規設置50台/年×3か年の達成を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	①市民主体の防犯活動促進、②防犯対策の強化	
22421	2 安全・安心	2-4 安全・安心な市民生活を守る	2-4-2 交通安全の推進	KPI	自転車による交通事故死傷者数	人	597	470	市内で発生した自転車に関係した交通事故における死者数・負傷者数の合計(各年)	交通事故死傷者数に占める割合が今後同程度になると見込み、目標値を設定。	千葉県警察への照会	毎年3月頃	①交通安全施設の充実、②交通安全に関する普及啓発、③自転車を活用したまちづくりの推進	
22431	2 安全・安心	2-4 安全・安心な市民生活を守る	2-4-3 消費生活の安定・向上	KPI	消費者教育に係る各種講座回数	回/年	126	135	巡回講座や消費生活講座・講演会など消費者教育に関する講座の開催数(各年)	R元の実施回数を基準として、R5から実施のオンライン開催の回数を加え、目標値として設定。	所管課による集計	適宜	消費者教育の推進	
13101	3 健康・福祉	3-1 健やかに暮らせる社会を創る	—	基本目標	健康寿命の延伸	年	健康寿命 男性80.04 女性84.78 平均寿命 男性81.45 女性88.10	平均寿命の増加 平均寿命の増加と健康寿命の増加の差(各年)	平均寿命の伸び以上に健康寿命を延ばすことで、個人の生活の質の低下を防ぎ、社会保障負担の軽減を目指し、目標値を設定。	国勢調査、千葉市保健統計	R12年度末(以降、6年ごと)			
23111	3 健康・福祉	3-1 健やかに暮らせる社会を創る	3-1-1 健康づくりの促進	KPI	特定健康診査実施率	%	31.6	40.0	40歳～74歳の国民健康保険加入者のうち、特定健康診査を受診した者の割合(各年)	コロナ禍前のH30実績値(39.5%)を上回ることを目指し、目標値を設定。	法定報告値(特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ)	毎年11月頃	がん検診・特定健康診査の受診率向上につながる環境づくり	
23112	3 健康・福祉	3-1 健やかに暮らせる社会を創る	3-1-1 健康づくりの促進	KPI	特定保健指導実施率	%	15.6	38.0	特定健康診査の結果、特定保健指導の対象となった者のうち、特定保健指導を終了した者の割合(各年)	R11に60%の達成を目指すこととし、割り返してR7の目標値を設定。	法定報告値(特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ)	毎年11月頃	がん検診・特定健康診査の受診率向上につながる環境づくり	
23113	3 健康・福祉	3-1 健やかに暮らせる社会を創る	3-1-1 健康づくりの促進	KPI	がん検診受診率	%	54.8	60.0	国民生活基礎調査でがん検診を受診したと回答した千葉市民の割合(各年)	国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な方針で、国が定める目標値60%をR7の目標値として設定。	国民生活基礎調査	R8年8月頃(以降、3年ごと)	がん検診・特定健康診査の受診率向上につながる環境づくり	
23114	3 健康・福祉	3-1 健やかに暮らせる社会を創る	3-1-1 健康づくりの促進	KPI	低栄養(BMI18.5以下)の後期高齢者の割合	%	8.50	8.49	後期高齢者のうち、健康診査における低栄養(BMI18.5以下)の人の割合(各年)	高齢者の低栄養を防止し、フレイルの予防を図ることで健康寿命の延伸につながることを目指し、目標値を設定。	健康診査(75歳以上)の結果から算出	毎年9月頃	①フレイル改善、②高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	
23121	3 健康・福祉	3-1 健やかに暮らせる社会を創る	3-1-2 医療提供体制の充実	KPI	入院が必要な患者の積極的な受入れ(両市立病院の新規入院患者数)	人	14,891	15,800	市立病院における新たに入院した患者の数(各年)	コロナ禍で減少した入院患者数が徐々に回復していくことを見込み、目標値を設定。	所管課による集計	毎年6月頃	市立病院の医療機器の更新	
23131	3 健康・福祉	3-1 健やかに暮らせる社会を創る	3-1-3 安全・安心な生活衛生環境の整備	KPI	ペットの適正飼養のための講習会等受講者数	人	68	110	動物保護指導センターが実施する講習会(飼い犬のしつけ方教室、猫の飼い方教室、高齢犬の飼い方教室、地域猫セミナー)における受講者数(各年)	R3実績から毎年10人の増加を見込み、目標値を設定。	所管課で集計	毎年6月頃	動物愛護の推進	
13201	3 健康・福祉	3-2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	—	基本目標	介護・支援を必要としない高齢者の割合(75歳以上85歳未満)	%	81.9	82.2	75歳以上85歳未満の高齢者のうち、要介護・要支援認定を受けていない人の割合(各年)	高齢化の進展に伴い、R5以降は下降する見込みだが、R4実績値82.2%(過去最高値)の維持を目標値として設定。	所管課で集計	毎年4月頃		
13202	3 健康・福祉	3-2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	—	基本目標	高齢者の有業率(65歳以上)	%	22.4	25.7	65歳以上の高齢者のうち、有業者の割合(各年)	H24～29における上昇率と同様の上昇率にて目標値を設定。	就業構造基本調査	R10年7月頃(以降、5年ごと)		
23211	3 健康・福祉	3-2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	3-2-1 生きがいづくりと社会参加の促進	KPI	生涯現役応援センターにおける就労・ボランティア等のマッチング件数	件	131	136	相談者が紹介した案件に応募するなど相談により行動変容に繋がった件数(各年)	R3実績に65歳以上人口増加率100.86%(R2.3未⇒R3.3未伸び率)を毎年度乗じた件数で目標値を設定。	所管課による集計	毎年4月頃	生涯現役応援センターの充実	
23221	3 健康・福祉	3-2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	3-2-2 地域で安心して暮らせる環境の整備	KPI	あんしんケアセンター包括3職種配置数	人	146	162	あんしんケアセンターに配置される主任ケアマネージャー、社会福祉士及び保健師の合計人数(各年)	高齢者保健福祉推進計画・介護保険事業計画(R3～R5)における、センター圏域ごとの高齢者人口推計等をもとに算出した必要数を目標値として設定。	各センターからの報告	適宜	あんしんケアセンターの機能強化	
23231	3 健康・福祉	3-2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	3-2-3 認知症とともに生きる社会の構築	KPI	認知症サポーター数	人	82,830	113,570	千葉市認知症サポーター養成講座の受講者数(累計)	千葉県の人口と養成人数の割合を市の数値に当てはめて算出し、目標値として設定。	所管課による集計	適宜	認知症の人や家族への支援	
23232	3 健康・福祉	3-2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	3-2-3 認知症とともに生きる社会の構築	KPI	認知症初期集中支援チーム支援件数	人	108	151	認知症初期集中支援チームによる自宅訪問等の支援を実施した人数(各年)	R3及びR4(見込値)の平均に、拡充を予定している3チームにおける活動時間数の拡充分に応じた支援実施人数の増加分を加えることで推計し、目標値として設定。	所管課による集計	毎年4月頃	認知症の人や家族への支援	
23241	3 健康・福祉	3-2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	3-2-4 介護保険サービス提供体制の整備	KPI	小規模多機能型居宅介護サービス等の地域密着型サービスの利用者数	人	945	1,219	小規模多機能型居宅介護サービス等の地域密着型サービスの利用者数(各年)	小規模多機能型居宅介護及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所の整備に伴い、利用者数の増加を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	毎年6月頃	①(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の整備、②介護人材の確保・定着の支援	
23242	3 健康・福祉	3-2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	3-2-4 介護保険サービス提供体制の整備	KPI	介護保険サービス事業所数	か所	3,207	3,351	千葉市内の介護保険事業所数(医療みなし事業所及び介護予防・生活支援サービス事業は除く)(各年)	過去の要支援・要介護認定者数の伸び率を踏まえ、必要な事業所数の確保を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	①特別養護老人ホームの整備、②(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の整備、③介護人材の確保・定着の支援	
13301	3 健康・福祉	3-3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	—	基本目標	地域で生活するようになった障害のある人の数	人	28	33	市内の福祉施設から地域生活に移行した人数(各年)	R3末実績値から5人増加を見込み、目標値として設定。	千葉県が実施する調査結果	毎年10月頃		
13302	3 健康・福祉	3-3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	—	基本目標	障害のある人が市民に理解されていると感じる障害者の割合	%	25	30	「障害のある人が市民に理解されていると感じますか」の質問に肯定的に回答した障害者の割合【アンケート】(各年)	H28調査時の実績が28.7%、R元調査時の実績が25%と割合が低下しているため、H28実績を上回ることを目指し、目標値を設定。	所管課による集計	R8年3月頃(以降、3年ごと)		
23311	3 健康・福祉	3-3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	3-3-1 障害のある方への理解促進と社会参加の促進	KPI	新たに就労した障害のある人の数	人	570	720	ハローワーク千葉・千葉南管内における新たに就労した障害者数(各年)	年150人ずつの増加を見込み、目標値を設定。	ハローワーク千葉への照会	毎年6月頃	①障害者雇用の促進、②農福連携の推進	

第1次実施計画における成果指標一覧

No.	分野	政策	施策	分類	成果指標	単位	R3(2021)末実績値	R7(2025)末目標値	指標の定義(値の算出方法)	目標設定の考え方	数値の把握方法	把握できる時期	関係する実施計画事業	関係する実施計画外事業
23312	3 健康・福祉	3-3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	3-3-1 障害のある方への理解促進と社会参加の促進	KPI	農福連携のマッチング数	件	0	3	障害者が農家や農業法人に就労した件数及び障害福祉サービス事業所等が農家や農業法人と作業受託等により就労した件数の合計(各年)	1件/年の実施を目指し、目標値を設定。	千葉県障害者就労事業振興センターへの照会	毎年6月頃	①障害者雇用の促進、②農福連携の推進	
23321	3 健康・福祉	3-3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	3-3-2 地域で自立して暮らせる環境の整備	KPI	重度障害者受入障害福祉サービス事業所定員数	人	60	108	重度障害者を受け入れる障害福祉サービス事業所の定員数(累計)	12名/年の増加を見込み、目標値を設定。	指定事業所の定員数	毎年4月頃	重度障害者グループホーム等の整備促進	
23331	3 健康・福祉	3-3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	3-3-3 障害のある子どもとその家族への支援の充実	KPI	療育相談所における相談件数	件	625	625	療育相談所における相談件数(各年)	R3の初診件数が625件/年であり、毎年同数の相談を受入れることとし、目標値を設定。	指定管理者の年次報告書	毎年6月頃	発達障害への支援の推進	
23341	3 健康・福祉	3-3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	3-3-4 心の健康づくりへの相談・支援体制の充実	KPI	ゲートキーパー養成者数	人	22	118	ゲートキーパー養成講座の受講者数(累計)	過去の実績をもとに、5名/年ずつ増となることを見込み、目標値を設定。	所管課による集計	毎年1月頃	-	ゲートキーパー養成講座の開催
23342	3 健康・福祉	3-3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	3-3-4 心の健康づくりへの相談・支援体制の充実	KPI	ひきこもり地域支援センター等の相談機関に相談している世帯の割合	%	18.1	40.0	ひきこもり状態にある者が属する世帯のうち、ひきこもり地域支援センター等の相談機関に相談している世帯の割合(各年)	R4の相談見込み件数(1,739件/年)より増加していくことを見込み、目標値を設定。	委託事業者の実績報告	毎年5月頃	ひきこもり相談支援体制の拡充	
13401	3 健康・福祉	3-4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる	-	基本目標	地域福祉活動に参加したことがある人の割合	%	29.1	40.0	地域福祉活動に参加したことがあると回答した人の割合【アンケート】(各年)	10%増を目指し、目標値を設定。	WEBアンケート	R7年度末(以降、5年ごとの予定)		
23411	3 健康・福祉	3-4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる	3-4-1 ともに支え合い、活力ある地域づくりの推進	KPI	社会福祉協議会ボランティア登録者数	人	6,144	7,024	千葉県ボランティアセンターのボランティア登録者数(各年)	第7次地域福祉活動計画(R4~R8)における、コロナ禍で減少傾向であったボランティア新規登録者数をコロナ禍前の水準に回復させていく目標を踏まえ、直近3か年の実績を考慮し、目標値を設定。	社会福祉協議会への確認	毎年4月頃	-	ボランティア活動の促進
23412	3 健康・福祉	3-4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる	3-4-1 ともに支え合い、活力ある地域づくりの推進	KPI	地域活動・ボランティア活動率(ちばし地域づくり大学校)	%	71.0	80.0	ちばし地域づくり大学校が実施する基礎コース受講生における履修後の活動率(各年)	R3末実績からの増加を見込み、目標値として設定。	所管課による集計	毎年7月頃	ちばし地域づくり大学校の運営	
23421	3 健康・福祉	3-4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる	3-4-2 包括的な支援体制の構築	KPI	生活自立・仕事相談センター相談件数	件	37.1	28.4	生活自立・仕事相談センターの人口10万人/月あたりの相談件数(各年)	コロナ禍により一時的に相談件数が急増したため、コロナ対策が緩和され始めたR4末の見込み件数を基に目標値を設定。	生活自立・仕事相談センターが作成する利用分析表から集計	毎年5月頃	自立相談支援体制の強化	
23422	3 健康・福祉	3-4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる	3-4-2 包括的な支援体制の構築	KPI	新たな相談窓口相談件数	件	-	600	福祉まるごとサポートセンターにおける相談件数(各年)	保健福祉総合相談(福祉まるごとサポートセンター開設前の相談窓口)における最多実績593件(H30)を目安として、目標値を設定。	所管課による集計	毎年4月頃	重層的・包括的支援体制の構築	
14101	4 子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	-	基本目標	市合計特殊出生率	-	1.21	1.27	市の将来人口推計に基づき、2035年までにコロナ禍前の水準(1.32)を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年10月頃			
14102	4 子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	-	基本目標	6歳未満の子どものいる子育て世帯の数	世帯	31,208	30,900	市の将来人口推計に基づき、R2~R7における0~6歳の人口減比率と同率(99%)を維持することを目指し、目標値を設定。	国勢調査		R8年10月頃(5年ごと)		
24111	4 子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	4-1-1 妊娠前から子育て期までの支援の充実	KPI	EPDS等の実施率	%	-	93	産婦健康診査の対象者のうち、お母さんの気持ち質問票(EPDS)を実施した割合(各年)	産婦健康診査に関するアンケート調査において、産婦健康診査率は93%(EPDSの実施は不明)であったため、今後実施予定のEPDS等の実施率は産婦健康診査率と同等と考えることから、目標値として設定。	所管課による集計	適宜	産婦健康診査費用の助成	
24112	4 子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	4-1-1 妊娠前から子育て期までの支援の充実	KPI	妊娠後期面接の実施率	%	24	50	妊娠7~8か月を迎えた全妊婦に対する面接の実施率(各年)	R4の妊婦のうち、初産婦割合は49.4%(見込み)であるため、全初産婦へのアプローチを目指し、目標として設定。	所管課による集計	適宜	-	出産・子育て応援プラン事業
24121	4 子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	4-1-2 子育てしやすい保育環境の充実	KPI	保育所待機児童数	人	0	0	保育の必要性の認定を受け、保育所等の利用申請をしたにもかかわらず、入所できなかった児童の数(各年)	将来にわたり待機児童ゼロを達成することを目指し、目標値を設定。	保育所等利用待機児童数	毎年3月頃	①ニーズに応じた保育の受け皿の確保、②教育・保育人材の確保及び質の向上	
24122	4 子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	4-1-2 子育てしやすい保育環境の充実	KPI	子育て支援コンシェルジュ相談件数	件	11,047	15,500	各区の子育て支援コンシェルジュに対する窓口・電話・乳幼児健診等の出張相談先等による相談件数(各年)	子育て支援コンシェルジュなど子育て支援サービス全般に関する情報提供等により相談件数の増加を見込み、目標値を設定。	各区の子育て支援コンシェルジュによる月次報告	毎年5月頃	-	子育て支援コンシェルジュ相談員の配置
24131	4 子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	4-1-3 困難な状況にある子どもや家庭への支援の充実	KPI	子ども・若者総合相談センターの機関連携件数	件	712	1,200	子ども・若者総合相談センターLinkが相談内容に応じて関係機関と連携して支援した件数(当該相談者に関する情報共有を含む)	R2以降、年100件強の増加がみられることを踏まえ、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	①ヤングケアラー支援体制の強化、②子どもの貧困対策の総合コーディネート	
24141	4 子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	4-1-4 児童虐待防止対策の強化	KPI	子ども家庭総合支援拠点における3職種配置数	人	-	40	子ども家庭総合支援拠点に配置された3職種(子ども家庭支援員、心理担当支援員、虐待対応支援員)の合計人数(各年)	子ども家庭総合支援拠点の配置基準を満たし、安定した運用の実施に必要な配置数を目標値として設定。	所管課による集計	毎年4月頃	子ども家庭総合支援拠点の整備	
24142	4 子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	4-1-4 児童虐待防止対策の強化	KPI	里親登録数	件	98	160	養育里親・養子縁組里親・親族里親の合計登録組数(累計)	リクルート実施による近年の登録数の伸びを鑑み、新規18組・辞退3組と想定して、目標値を設定。	福祉行政報告例	毎年9月頃	-	里親制度の理解促進
24151	4 子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	4-1-5 障害のある子どもとその家族への支援の充実(再掲)	KPI	療育相談所における相談件数(再掲)	件	625	625	療育相談所における相談件数(各年)	R3の初診件数が625件/年であり、毎年同数の相談を受入れることとし、目標値を設定。	指定管理者の年次報告書	毎年6月頃	発達障害への支援の推進	
14201	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	-	基本目標	全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との比較(市立小・中学校)	ポイント	小学・国語 0 小学・算数+1.0 中学・国語+1.0 中学・数学+1.0	小学・国語+1.0 小学・算数+1.0 中学・国語+1.0 中学・数学+1.0	全国学力・学習状況調査における全国平均正答率と市立小学校又は市立中学校の平均正答率の差(各年)	第3次千葉市学校教育推進計画における目標値(R9年 小2.0、中1.0)をもとに、設定。	全国学力・学習状況調査結果	毎年8月頃		

第1次実施計画における成果指標一覧

No.	分野	政策	施策	分類	成果指標	単位	R3(2021)末実績値	R7(2025)末目標値	指標の定義(値の算出方法)	目標設定の考え方	数値の把握方法	把握できる時期	関係する実施計画事業	関係する実施計画外事業
24211	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-1 未来につながる学びの充実	K P I	読書の習慣のある児童の割合	%	小学3年生47.5 小学5年生42.4 中学2年生41.5	小学3年生51.0 小学5年生46.0 中学2年生45.5	家庭で週1時間以上読書をしている児童の割合(各年)	今後も児童への読書指導を一層充実させることとし、年1%程度の増とする目標値を設定。	千葉市学力状況調査の意識調査	毎年5月頃	-	千葉市子ども読書活動推進計画(第4次)の推進
24212	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-1 未来につながる学びの充実	K P I	市図書館における1人あたりの貸出図書冊数	冊	4.2	4.3	市図書館における1人あたりの貸出図書冊数(各年)	0.1冊増を目指し、目標値を設定。(数値には図書資料貸出数のほか、電子書籍の貸出回数を含める)	所管課による集計	毎年4月頃	-	千葉市図書館ビジョン2040の推進
24213	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-1 未来につながる学びの充実	K P I	「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使っている」と答えた児童生徒の割合	%	小学6年生44.8 中学3年生30.5	小学6年生80.0 中学3年生80.0	全国学力・学習状況調査にて、「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使っている」と答えた児童生徒の割合(各年)	R9に100%を達成することを目指し、R7末の目標値を設定。	全国学力・学習状況調査結果	毎年8月頃	ICT教育の推進	
24214	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-1 未来につながる学びの充実	K P I	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小学6年生80.2 中学3年生65.4	小学6年生82.0 中学3年生68.0	全国学力・学習状況調査にて、「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合(各年)	直近4年間の全国学力学習状況調査の平均値を、目標値として設定。	全国学力・学習状況調査結果	毎年8月頃	キャリア教育の推進	
24221	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-2 学びを支える教育環境の充実	K P I	学校支援地域本部支援件数	件	242	1,260	学校の要請に応じて、学校支援地域本部が地域ボランティアに依頼して学校を支援した件数(各年)	コロナ禍が落ち着くことを見据え、各学校の外部人材の活用が進むことや、今後の学校支援地域本部の設置校増加を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	学校と地域の連携・協働体制の充実	
24222	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-2 学びを支える教育環境の充実	K P I	勤務時間を除く在校等の時間が月平均45時間を超えない教職員の割合	%	52	100	勤務時間を除く在校等の時間が月平均45時間を超えない教職員の割合(各年)	教育委員会規則により、勤務時間を除く在校等時間の上限を月45時間と定めていることから、速やかに100%達成を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年4月頃	①少人数学級・少人数指導の推進、 ②教職員の働き方改革	
24223	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-2 学びを支える教育環境の充実	K P I	勤務時間を除く在校等の時間が月平均80時間を超えない教職員の割合	%	95.3	100	勤務時間を除く在校等の時間が月平均80時間を超えない教職員の割合(各年)	「学校における働き方改革プラン」における目標を踏まえ、長時間労働を是正し、教職員の心身の健康保持を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年4月頃	①少人数学級・少人数指導の推進、 ②教職員の働き方改革	
24231	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-3 学校生活支援の充実	K P I	スクールカウンセラー相談件数	件	51,774	73,800	小・中学校に配置されているスクールカウンセラーへの児童生徒、保護者、教職員による相談件数(各年)	過去実績及び今後の配置拡充に伴う相談数の増加を加味し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	不登校対策の推進	
24232	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-3 学校生活支援の充実	K P I	ソーシャルワーカー対応事案数	件	206	280	スクールソーシャルワーカーが支援した件数(各年)	過去の派遣事案数とそれまでの増加率を動かし、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	スクールソーシャルワーカーの拡充	
24233	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-3 学校生活支援の充実	K P I	学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合	%	42.3	14.0	不登校児童生徒のうち、学校内外を問わず機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合(各年)	R9に0%を達成することを目指し、R7末の目標値を設定。	問題行動調査(文部科学省)	毎年10月頃	不登校対策の推進	
24234	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-3 学校生活支援の充実	K P I	いじめ解消率	%	60.0	70.0	いじめの認知件数のうち、解消している割合(各年)	R9に75%の達成を目指し、R7末の目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	いじめ防止対策の推進	
24241	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-4 放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実	K P I	子どもルーム待機児童数	人	83	0	子どもルームに入所を希望しているが、定員を超えているため入所できない児童数(各年)	R7末までに待機児童の解消を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年4月頃	子どもルームの充実	
24242	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-4 放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実	K P I	アフタースクール導入率	%	18.4	55.7	アフタースクール導入対象の小学校のうち、導入済みの小学校の割合(各年)	R12までに導入可能な全ての小学校にアフタースクールの導入を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	アフタースクールの充実	
24243	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-4 放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実	K P I	中学校区における子どもの居場所の整備率	%	35.2	50.0	子どもの居場所(どこでもこどもカフェ、プレーパーク等)が整備されている中学校区の割合(各年)	子どもが徒歩で通える距離の中学校区において、子どもの居場所が1ヶ所以上ある割合を50%として目標値を設定。	所管課による集計	適宜	子どもの居場所づくり	
24251	4 子ども・教育	4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	4-2-5 子ども・若者が社会で考え、行動する力の育成	K P I	こどもの参画事業参加人数	人/年	904	2,385	こども・若者のカワークシヨップ等のこどもの参画事業の参加人数(各年)	過去の実績を踏まえ、小・中学校への出張授業等の実施開催数の増加等を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	こどもの参画の推進	
15101	5 地域社会	5-1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	-	基本目標	「男性は仕事、女性は家事・育児」といった固定的性別役割分担意識を持たない人の割合	%	39.7	67.0	「男性は仕事、女性は家事・育児という考え方についてどのように思いますか」という質問に対し、否定的な回答をした人の割合【アンケート】(各年)	第5次千葉市男女共同参画ハーモニープラン(R5~R9)において、他政令市の目標値等を参考にR9までに80.0%を目指し、R7末時点の目標値を設定。	市民意識調査(男女共同参画センター実施)	毎年3月頃		
15102	5 地域社会	5-1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	-	基本目標	外国人と日本人の互いの生活習慣や文化などへの理解が進んでいると思う人の割合	%	41.0	45.0	「外国人と日本人の互いの生活習慣や文化などへの理解が進んでいますか」という質問に対し、肯定的な回答をした人の割合【アンケート】(各年)	多文化共生への理解が深まっていくと考え、毎年1ポイント増を設定。	アンケート調査	R6年度末(以降、3年ごと)		
15103	5 地域社会	5-1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	-	基本目標	障害のある人が市民に理解されていると感じる障害者の割合(再掲)	%	25.0	30.0	「障害のある人が市民に理解されていると感じますか」の質問に肯定的に対し、回答した障害者の割合【アンケート】(各年)	R元年度実績がH28年度実績値の28.7%から低下しているため、H28年度の実績を上回ることを目指し、目標値を設定。	所管課が実施する実態調査	R8年3月頃(以降、3年ごと)		
25111	5 地域社会	5-1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	5-1-1 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進	K P I	女性有業率(25歳から44歳)	%	71.5	73.5	25歳から44歳の女性のうち、有業者の割合(各年)	厚生労働省の雇用政策研究会報告書(令和元年)で示された「経済成長と労働参加が進むケース」をベースに、本市の将来人口推計等を踏まえ設定。	就業構造基本調査	R10年7月頃(以降、5年ごと)	固定的な性別役割分担意識の解消及び女性活躍の推進	
25112	5 地域社会	5-1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	5-1-1 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進	K P I	えるぼし認定を受けた市内企業数	社	20	33	女性活躍推進法に基づくえるぼし認定を受けた市内企業数(累計)	第5次千葉市男女共同参画ハーモニープラン(R5~R9)において、国の第5次男女共同基本計画における認定企業数の目標等を参考に、R9までに50社を目指し、R7末時点の目標値を設定。	厚生労働省ホームページ	四半期ごと	固定的な性別役割分担意識の解消及び女性活躍の推進	
25113	5 地域社会	5-1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	5-1-1 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進	K P I	学校や職場内の人々がLGBTだった場合、これまでと変わらず接することができると思う人の割合	%	56.6	70.0	「学校や職場内の人々がLGBTだった場合、これまでと変わらず接することができますか」という質問に対し、肯定的な回答をした人の割合【アンケート】(各年)	第4次千葉市男女共同参画ハーモニープラン(H28~R4)の目標値(75%)が達成できなかったことから、第5次千葉市男女共同参画ハーモニープラン(R5~R9)のR9目標値を75%と設定し、R7末時点の目標値を設定。	WEBアンケート	毎年3月頃	LGBTへの理解促進	

第1次実施計画における成果指標一覧

No.	分野	政策	施策	分類	成果指標	単位	R3(2021)末実績値	R7(2025)末目標値	指標の定義(値の算出方法)	目標設定の考え方	数値の把握方法	把握できる時期	関係する実施計画事業	関係する実施計画外事業
25121	5 地域社会	5-1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	5-1-2 多文化共生社会の実現	KPI	国際交流プラザにおける外国人からの相談件数	件/年	1,190	1,447	外国人市民からの一元的相談窓口である国際交流プラザにおける対面、電話、FAX、メールなど全ての形態による相談件数(各年)	実績を参考に毎年5%程度の件数増加を見込み設定。	所管課による集計	適宜	外国人市民への生活支援	
25122	5 地域社会	5-1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	5-1-2 多文化共生社会の実現	KPI	コミュニティ通訳・翻訳サポーターの登録者数	人	0	200	千葉市国際交流協会が実施する「コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度」に登録したサポーターの人数(累計)	通訳・翻訳の需要や少数言語への対応の必要性が高まっていることを踏まえ、200人登録を目標値として設定。	所管課による集計	適宜	-	コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度
15201	5 地域社会	5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	-	基本目標	チーム千葉ボランティアネットワークによるボランティア募集数	件/年	18	90	チーム千葉ボランティアネットワークで募集したボランティア件数(各年)	R4年度実績として60件程度が見込まれたため、年10件程度の増加を見込み設定。	所管課による集計	適宜		
15202	5 地域社会	5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	-	基本目標	チーム千葉ボランティアネットワーク登録者数	人	1,983	2,400	チーム千葉ボランティアネットワークの登録者数(累計)	R4年度実績として2,100人程度が見込まれたため、年100人程度の増加を見込み設定。	所管課による集計	適宜		
25211	5 地域社会	5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	KPI	ちばレポのこまったレポート数	件/年	2,458	3,200	まちの課題について、ちばレポで投稿されたレポート数(各年)	過去実績を踏まえ、継続的に同程度増加させていくことを目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	ちばレポ(My City Report)による市民協働の推進	
25212	5 地域社会	5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	KPI	地域運営委員会設置地区数	地区	18	22	地域運営委員会の設置地区数(累計)	R2、3年度に行った各地域へのヒアリング結果を踏まえ、R7年度末までに最大4地区での設置を見込み、設定。	所管課による集計	適宜	①多様な主体の連携による市民主体のまちづくり推進、②地域運営委員会の設置促進及び活動支援	
25213	5 地域社会	5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	KPI	千葉市民活動支援センター登録団体数	団体	777	820	千葉市民活動支援センターに登録している団体数(累計)	H29～R元の実績の平均値を基準に、年10団体の増加を見込み設定。	所管課による集計	適宜	ボランティアに関する情報ネットワークの充実	千葉市民活動支援センターの運営
25221	5 地域社会	5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	5-2-2 生涯学習を通じた地域活動の推進	KPI	千葉市科学館入場者数	人	301,302	480,000	千葉市科学館の年間入場者数	R8に過去最高の年間入場者数更新を目指し、R7末の目標値を設定。	指定管理者の年次報告書(事業統計)	毎年4月頃	科学館の充実	
25222	5 地域社会	5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	5-2-2 生涯学習を通じた地域活動の推進	KPI	公民館稼働率	%	39.0	52.0	公民館諸室の利用可能コマ(午前、午後、夜間)のうち、実際に利用されたコマの割合(各年)	H30～R4の指定管理業務における目標値(52.0%)が未達成のため、引き続き目標値として設定。	指定管理者の年次報告書(事業統計)	毎年4月頃	公民館の機能拡充	
25223	5 地域社会	5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める	5-2-2 生涯学習を通じた地域活動の推進	KPI	生涯学習センター稼働率	%	47.7	62.0	生涯学習センター諸室の利用可能コマ(午前、午後A、午後B、夜間)のうち、実際に利用されたコマの割合(各年)	H28～R1の平均値が61.5%のため、62%を目標値と設定。	指定管理者の年次報告書	毎年4月頃	-	生涯学習センター管理運営
16101	6 文化芸術・スポーツ	6-1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	-	基本目標	市内文化施設の年間イベント件数(市民会館・文化センター・文化ホールにおける文化系イベントの開催数)	件	1,130	1,288	市民会館、文化センター、若葉文化ホール、美浜文化ホールにおける年間イベント開催数(各年)	コロナ禍前の水準に戻すことを目指し、H30年度の実績を目標値として設定。	指定管理者への聞き取り	毎年3月頃		
26111	6 文化芸術・スポーツ	6-1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	6-1-1 文化芸術活動の創出と支援	KPI	文化施設(市民会館・文化センター・文化ホール)利用者数	人	178,709	768,000	市民会館、文化センター、若葉文化ホール、美浜文化ホールにおける年間施設利用者数(各年)	現指定管理期間(R3～7)における展覧会入場者の数値目標を踏まえ、目標値を設定。	指定管理者の年次報告書	毎年3月頃	新市民会館の整備	
26112	6 文化芸術・スポーツ	6-1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	6-1-1 文化芸術活動の創出と支援	KPI	千葉市美術館利用者数	人	143,443	200,000	美術館展覧会の年間入場者数(各年)	現指定管理期間(R2～R6年)における展覧会入場者の数値目標を踏まえ、目標値を設定。	指定管理者の年次報告書	毎年3月頃	美術作品のデジタル化推進	
26113	6 文化芸術・スポーツ	6-1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	6-1-1 文化芸術活動の創出と支援	KPI	市立中学校における芸術鑑賞体験教室の参加者数	人	6,456	7,000	市立中学校で実施する芸術鑑賞体験教室の参加者数(各年)	市立中学校の生徒が、在学中に1回は芸術鑑賞体験教室に参加できることを目指し、目標値を設定(生徒数は見込み)。	所管課による集計	毎年3月頃	学校教育における文化芸術にふれる機会の充実	
26114	6 文化芸術・スポーツ	6-1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	6-1-1 文化芸術活動の創出と支援	KPI	体験・創造ワークショップ(小学生対象)の参加者数	人	92	120	小学生を対象に実施するメディア芸術に関する体験・創造ワークショップの参加者数(各年)	実績では定員120人に対し8割程度の参加率のため、定員が埋まることを目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	文化芸術と連携したまちづくりの推進	
26121	6 文化芸術・スポーツ	6-1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	6-1-2 文化財の保全・活用	KPI	博物館の収蔵資料点数	点	40,121	43,800	加曾利貝塚博物館及び郷土博物館に収蔵されている資料点数(累計)	発掘調査や調査研究のための資料収集範囲を広げることにより、収蔵資料の増加を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	①縄文文化調査研究、②郷土博物館の展示の充実、③千葉氏に関する企画展の実施及び調査研究の推進	
26122	6 文化芸術・スポーツ	6-1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	6-1-2 文化財の保全・活用	KPI	博物館の入館者数	人/年	96,772	110,000	加曾利貝塚博物館及び郷土博物館の入館者数及び行事等の参加者数の合計(各年)	コロナ禍前の実績値までの回復を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	①特別史跡加曾利貝塚の魅力向上(史跡の整備)、②特別史跡加曾利貝塚の魅力向上(集客力の向上)、③郷土博物館の展示の充実、④千葉氏に関する企画展の実施及び調査研究の推進	
16201	6 文化芸術・スポーツ	6-2 スポーツに親しむ環境を創る	-	基本目標	成人のスポーツ実施率	%	65.5	70.0	成人のうち、週1回以上スポーツ・レクリエーションを行う人の割合【アンケート】(各年)	国の第3期スポーツ基本計画(R4～R8)における目標値70.0%を参考に、本市のスポーツ実施率を踏まえ目標値を設定。	市民意識調査	R6年度末(以降、5年ごと)		
16202	6 文化芸術・スポーツ	6-2 スポーツに親しむ環境を創る	-	基本目標	障害者(成人)のスポーツ実施率	%	17.3	40.0	障害者(成人)のうち、週1回以上スポーツ・レクリエーションを行う人の割合【アンケート】(各年)	国の第3期スポーツ基本計画(R4～R8)における目標値に合わせて設定。	障害者計画等策定に係る実態調査	R8年5月頃(以降、3年ごと)		
26211	6 文化芸術・スポーツ	6-2 スポーツに親しむ環境を創る	6-2-1 市民スポーツ活動の促進・支援	KPI	スポーツ・レクリエーション活動の参加者数	千人	3,051	5,500	市が主催するスポーツ行事などの参加者数、市内スポーツ施設及び学校体育施設の利用者数の合計(累計)	コロナ禍により減少した各スポーツ行事が増加に転じることを見込み、R3年度実績の1.8倍を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年4月頃	①アーバンスポーツやストリートカルチャー等の推進、②ゆるスポーツの推進、③トップスポーツチームとの連携によるスポーツに親しむ機会の充実、④国際的・全国的な競技大会の開催・誘致、⑤国際的・全国的な自転車競技大会の開催支援	
26212	6 文化芸術・スポーツ	6-2 スポーツに親しむ環境を創る	6-2-1 市民スポーツ活動の促進・支援	KPI	パラスポーツへの関心がある人の割合	%	53.2	60.0	「パラスポーツへの関心がありますか」の質問に対し、肯定的に回答した人の割合【アンケート】(各年)	3か年で5ポイント増を目指し、設定。	WEBアンケート	毎年1月頃	①パラスポーツの推進、②パラスポーツ交流を通じた地域活性化	
26213	6 文化芸術・スポーツ	6-2 スポーツに親しむ環境を創る	6-2-1 市民スポーツ活動の促進・支援	KPI	パラスポーツコンシェルジュによるマッチング件数	件	106	150	パラスポーツコンシェルジュへの相談等により、スポーツ活動に結び付いた件数(各年)	実績を踏まえ、継続的な取組みにより見込まれる件数を目標値に設定。	千葉市スポーツ協会からの報告	毎年4月頃	パラスポーツの推進	
26214	6 文化芸術・スポーツ	6-2 スポーツに親しむ環境を創る	6-2-1 市民スポーツ活動の促進・支援	KPI	パラスポーツ指導員数	人	94	130	公益財団法人日本パラスポーツ協会が認定する公認パラスポーツ指導員(上級・中級・初級)の登録者数(各年)	年10人の増加を目指し、目標値を設定。	日本パラスポーツ協会の公開資料	毎年4月頃	パラスポーツの推進	

第1次実施計画における成果指標一覧

No.	分野	政策	施策	分類	成果指標	単位	R3(2021)末実績値	R7(2025)末目標値	指標の定義(値の算出方法)	目標設定の考え方	数値の把握方法	把握できる時期	関係する実施計画事業	関係する実施計画外事業
26215	6 文化芸術・スポーツ	6-2 スポーツに親しむ環境を創る	6-2-1 市民スポーツ活動の促進・支援	KPI	障害者スポーツ大会の参加者数	人	0(大会中止)	474	市が主催する個人で参加可能な障害者スポーツ大会(千葉市身体障害者スポーツ大会、千葉市ゆうあいピック、千葉市精神障害者卓球大会)の参加者数(各年)	コロナ禍前の水準に戻すことを目指し、R4年度実績365人の1.3倍の値を目標値として設定。	所管課による集計	適宜	パラスポーツの推進	
26221	6 文化芸術・スポーツ	6-2 スポーツに親しむ環境を創る	6-2-2 スポーツを核とした地域の活性化	KPI	トップスポーツチームとの交流実施回数	回/年	36	73	プロや実業団、クラブチームなどのトップスポーツチームを小中学校や市民チーム等へ派遣した回数(各年)	R4末の実績値58回から年5回増を目指し、目標値を設定。	実績報告	毎年3月頃	トップスポーツチームとの連携によるスポーツに親しむ機会の充実	
26222	6 文化芸術・スポーツ	6-2 スポーツに親しむ環境を創る	6-2-2 スポーツを核とした地域の活性化	KPI	国際的・全国的な競技大会の観戦者数	人	60,245	72,000	市内で開催される国際的・全国的な競技大会の観戦者数(各年)	コロナ禍により減少した大会の再開等を見込み、R3年度実績の1.2倍の値を目標値に設定。	実績報告	毎年3月頃	①パラスポーツの推進、②国際的・全国的な競技大会の開催・誘致、③国際的・全国的な自転車競技大会の開催支援	
17101	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	—	基本目標	居住促進区域内の人口密度	人/ha	90	90以上	居住促進区域内における人口密度(各年)	人口減少が見込まれる中でも一定のエリア(居住促進区域)内においては人口密度を維持することを旨とし、R3末実績値以上を目標値に設定。	国勢調査及び地理情報システム(GIS)データ	R9年度末(以降、5年ごと)		
17102	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	—	基本目標	都心部(幕張新都心)の日々活動人口	千人/日	190	230	幕張新都心における1日あたりの就業者・就学者・居住者・来訪者の合計(各年)	コロナ禍により減少した、日々活動人口の多くの割合を占める来訪者の回復を見込み、コロナ禍直前の数値を目標値に設定。	アンケート調査	毎年9月頃		
17103	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	—	基本目標	JR千葉駅乗車人数	人/日	86,911	108,000	JR千葉駅における1日あたりの乗車人数(各年)	コロナ禍による公共交通の利用者数の減少やテレワークなど新しい生活様式の定着により、単純な右肩上がりでは想定できないことから、コロナ禍前の水準(R元年度)に回復することを目標値に設定。	各駅の乗車人員(JR東日本ホームページ)	毎年8月頃		
17104	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	—	基本目標	千葉市に都市アイデンティティがあると思う人の割合	%	57.0	59.0	「千葉市に都市アイデンティティがあると思いますか」の質問に対し、肯定的に回答した人の割合【アンケート】(各年)	千葉開府900年を迎える2026(R8)年の目標値60%の達成を目指し、R3年度実績値から年約0.58%の増加を目標値に設定(小数点以下四捨五入)。	WEBアンケート	毎年3月頃		
27111	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進	KPI	特定空家等の件数	件	102	50	特定空家等の件数(累計)	過去の実績値を踏まえ、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	空き家・空き地対策の推進	
27112	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進	KPI	地区計画の策定・変更数	件	策定59 変更33	策定61 変更34	地区計画の策定数及び変更数(累計)	近年の事業者等との協議状況を踏まえ、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	適切な土地利用を誘導するための基礎調査	
27113	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進	KPI	区画整理事業の宅地整備面積	ha	40.5	47.8	寒川第一地区、検見川・稲毛地区及び東幕張地区における区画整理事業の宅地整備面積(累計)	第1次実施計画期間中に整備を予定している宅地面積を目標値に設定。	所管課による集計	適宜	寒川第一土地区画整理、検見川・稲毛土地区画整理、東幕張土地区画整理	
27121	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-2.3 都心などの魅力向上	KPI	幕張新都心年間来訪者数	万人	3,200	4,800	幕張新都心における年間来訪者数(各年)	コロナ禍による減少からの回復を見込み、コロナ禍直前の集計値を目標値に設定。	アンケート調査	毎年9月頃	①幕張新都心まちづくり連携促進、②若葉住宅地区における住宅整備促進、③幕張海浜公園の活性化	
27122	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-2.3 都心などの魅力向上	KPI	都心部(千葉駅周辺)の歩行者数	千人	119	131	千葉駅西口地区及び千葉駅周辺エリアの1日当たりの歩行者数の合計(11時間/日、17か所)(各年)	千葉駅の利用者数及び中央区における人口の増加率を踏まえ、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	①中央公園・通町公園の連結強化、②千葉駅周辺における官民連携まちづくり(ウォークアップ推進)、③千葉駅東エリア(西銀座周辺)の再開発	
27123	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-2.3 都心などの魅力向上	KPI	リノベーションスクール関係者等によるプロジェクト創造数	件	91	271	リノベーションスクール関係者等によるプロジェクト創造数(累計)	R3からR4にかけての増加数が継続することを想定し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	千葉駅周辺における官民連携まちづくり(リノベーションまちづくり)	
27131	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-3 地域資源の発掘・活用	KPI	稲毛海浜公園利用者数(有料施設)	千人/年	618	627	稲毛海浜公園内の有料施設である指定管理施設(運動施設)及び管理許可施設(花の美術館、稲毛記念館、野外音楽堂、プール)の年間利用者数(各年)	指定管理施設は指定管理期間における目標値をベースとし、管理許可施設は実績(R2、R3)及び新規開設施設の利用を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	①海辺の活性化、②稲毛海浜公園のリニューアル	
27132	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-3 地域資源の発掘・活用	KPI	博物館の入館者数(再掲)	人/年	96,772	110,000	加曾利貝塚博物館及び郷土博物館の入館者数及び行事等の参加者数の合計(各年)	コロナ禍前の実績値までの回復を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	①特別史跡加曾利貝塚の魅力向上(史跡の整備)、②特別史跡加曾利貝塚の魅力向上(集客力の向上)、③郷土博物館の展示の充実、④千葉氏に関する企画展の実施及び調査研究の推進	
27133	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-3 地域資源の発掘・活用	KPI	オオガハス関連イベント来場者数(再掲)	人/年	15,900	30,000	オオガハス関連のイベントへの来場者数(各年)	過去実績を参考に、毎年1割程度の増加を目指し、目標値を設定。	現地調査	毎年8月頃	オオガハスの魅力発信	
27134	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-3 地域資源の発掘・活用	KPI	アイデンティティの醸成につながる郷土教育の実施率	%	88.0	100.0	市立学校のうち、アイデンティティの醸成につながる郷土教育を実施している学校の割合(各年)	全校での実施を目指し、目標値を設定。	アンケート調査	毎年2月頃	地域資源の活用などによる郷土教育の充実	
27141	7 都市・交通	7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める	7-1-4 広域連携の深化	KPI	周辺自治体との連携事業数	事業	17	21	周辺自治体との連携事業数(累計)	年1件ずつ導入することを目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	ちば共創都市圏における広域連携	
17201	7 都市・交通	7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する	7-1-4 広域連携の深化	基本目標	公共交通機関の乗車人数	千人/日	624	800	1日あたりの公共交通機関の乗車人数(各年)	コロナ禍による公共交通の利用者数の減少や、テレワークなど新しい生活様式の定着により、単純な右肩上がりでは想定できないことから、コロナ禍前の水準(R元年度)に回復することを目標に設定。	各事業者の公開データや事業者への問い合わせ	毎年9月頃		
17202	7 都市・交通	7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する	7-1-4 広域連携の深化	基本目標	市内のボトルネック交差点における混雑箇所の割合	%	52.5	47.5	主要渋滞箇所である市内のボトルネック交差点における混雑が継続している箇所の割合(各年)	市内ボトルネック交差点に関する路線について、道路ネットワーク整備及び交差点改良による渋滞解消を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	適宜		
27211	7 都市・交通	7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する	7-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの形成	KPI	外出時の移動手段で公共交通等を最も利用する市民の割合	%	34.8	40.0	「外出時に一番利用する交通手段」に関する質問に対して、「公共交通等」と回答した人の割合【アンケート】(各年)	東京都市圏パーソントリップ調査(H30)における、「公共交通機関(鉄道及びバス)を使う割合」が3割程度となっていることを踏まえ、公共交通の利用促進による意識変容の目標値を設定。	Webアンケート調査	毎年(時期未定)	①公共交通のシームレス化の推進、②モビリティ・マネジメントの推進	
27212	7 都市・交通	7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する	7-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの形成	KPI	千葉中央港地区旅客船利用者数	人	24,157	35,000	千葉中央港地区を発着する旅客船の利用者数(各年)	コロナ禍以前の実績を踏まえ、目標値を設定。	旅客船業者からの実績報告	毎年4月頃	千葉中央港地区まちづくりの推進	

第1次実施計画における成果指標一覧

No.	分野	政策	施策	分類	成果指標	単位	R3(2021)未実績値	R7(2025)未目標値	指標の定義(値の算出方法)	目標設定の考え方	数値の把握方法	把握できる時期	関係する実施計画事業	関係する実施計画外事業
27221	7 都市・交通	7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する	7-2-2 道路ネットワークの形成	K P I	都市計画道路の整備率	%	75.4	75.7	都市計画決定されている全都市計画道路延長のうち、整備が完了した都市計画道路延長の割合(各年)	都市計画道路の整備見込み量を基に、R7年度までに都市計画道路約1kmの整備を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	①広域ネットワークを構築する道路整備、②市内ネットワークを構築する道路整備、③都市施設の見直し	
27231	7 都市・交通	7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する	7-2-3 安全・安心な移動環境の整備	K P I	放置自転車台数	台	746	630	自転車利用が多いと想定される特定の1日における放置禁止区域内の道路上の自転車等の放置台数(各年)	駐輪場及び放置禁止区域内に駐輪している自転車総台数のうち、違法駐輪(放置状態)台数の割合(放置率)について、H30～R4の5年間の平均値2.6%を0.5%下げ、約2.1%を目指す。約2.1%を達成した場合における、R3実績から逆算して目標値を設定。	所管課による集計	毎年9月頃	自転車を活用したまちづくりの推進	
27232	7 都市・交通	7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する	7-2-3 安全・安心な移動環境の整備	K P I	鉄道駅のバリアフリー化率	%	90.3	100.0	千葉市内の駅のうち、段差解消及び多機能トイレが整備された鉄道駅(3千人以上)及び内方線付き点状ブロックが整備された鉄道駅(1万人以上)の割合	市内の鉄道駅全てのバリアフリー化の達成を目指し、目標値に設定。	所管課による集計	適宜	バリアフリー化の推進及び促進	
27233	7 都市・交通	7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する	7-2-3 安全・安心な移動環境の整備	K P I	駅や公共施設等を結ぶ道路等のバリアフリー化率	%	34	80	千葉市バリアフリー基本構想に基づく生活関連経路等(90.53km)のバリアフリー化した割合(累計)	千葉市道路のバリアフリー整備計画(R4～R8)に基づき、R8未までにバリアフリー化率80%の整備完了を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	歩道の改良	
17301	7 都市・交通	7-3 まちの発展にテクノロジーを活かす	—	基本目標	ICTの普及により生活が便利になったと感じる人の割合(「ICTが生活の利便性に寄与するものだと考えている人の割合」)	%	83.0	90.0	「ICTが生活の利便性に寄与すると思いますか」に質問に対し、肯定的に回答した人の割合【アンケート】(各年)	R3年度のアンケート結果を踏まえ、ICTの普及とともに年代のシフトも考慮し、目標値を設定。	アンケート調査	R7年度末(以降、5年ごと)		
27311	7 都市・交通	7-3 まちの発展にテクノロジーを活かす	7-3-1 スマートシティの推進	K P I	オープンデータ活用事例数	件	24	28	市のオープンデータを活用して民間事業者等がサービスを展開した事例の数(累計)	年1件程度の増加を目指し、目標値を設定。	民間事業者等からの活用事例の報告数を集計	適宜	オープンデータ活用の推進	
27312	7 都市・交通	7-3 まちの発展にテクノロジーを活かす	7-3-1 スマートシティの推進	K P I	支払いが年間1,000件以上ある窓口のうち、キャッシュレスで支払が可能な割合	%	21.5	80.0	支払いが1000件/年以上ある窓口(指定管理者施設を含む)のうち、キャッシュレスで支払いが可能な窓口の割合(各年)	券売機などの機器の更新時期や、法令等でキャッシュレス化が困難な窓口を考慮し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年9月頃	キャッシュレス化の推進	
27313	7 都市・交通	7-3 まちの発展にテクノロジーを活かす	7-3-1 スマートシティの推進	K P I	オンライン手続可能な件数に対する、実際にオンラインで手続された件数の割合	%	43.0	50.0	オンライン手続可能な件数に対する、実際にオンラインで手続された件数の割合(各年)	手続の半数がオンラインで手続されることを目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年9月頃	市役所への手続等のデジタル化の推進	
27321	7 都市・交通	7-3 まちの発展にテクノロジーを活かす	7-3-2 新しい技術・しくみの社会実装の加速化	K P I	未来技術を活用した実証環境の提供件数	件	52	56	未来技術を活用した実証環境の提供件数(市の補助事業としての実証環境を含む)(各年)	R2年以前の実績を踏まえ、年3件増を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	①ドローン宅配等の実用化の推進、②先端技術を活用したモビリティサービスの実現	
17401	7 都市・交通	7-4 暮らしを支える基盤を創る	—	基本目標	居住促進区域内の人口密度(再掲)	人/ha	90	90以上	居住促進区域内における人口密度(各年)	人口減少が見込まれる中でも一定のエリア(居住促進区域)内においては人口密度を維持することを目指し、R3未実績値以上を目標値に設定。	国勢調査及び地理情報システム(GIS)データ	R9年度末(以降、5年ごと)		
27411	7 都市・交通	7-4 暮らしを支える基盤を創る	7-4-1 住環境・生活基盤の充実	K P I	居住促進区域内の高経年住宅団地の高齢化率	%	36.1	36.1	居住促進区域内(24団地)における高経年住宅団地入居者の高齢化率(各年)	年々上昇している高経年住宅団地の高齢化率を抑制するため、同程度を維持することを目指し、目標値を設定。	住民基本台帳人口	半期ごと	若年世帯の流入による住宅団地の活性化	
27421	7 都市・交通	7-4 暮らしを支える基盤を創る	7-4-2 持続可能な上下水道事業の推進	K P I	下水道管渠改築率	%	0	57	第2期ストックマネジメント計画に基づき改築を予定する下水道管渠のうち、改築した割合(累計)	第2期下水道ストックマネジメント計画(R5～R9年度)に基づく事業量を踏まえ、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	下水道ストックマネジメントの推進	
18101	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	—	基本目標	民営事業所の従業者数	人	409,835	410,000	経済センサスにおける市内民営事業所の従業者数(各年)	直近3回の経済センサスにおける結果の推移を踏まえ、同程度を目標値として設定。	経済センサス	R10年5月頃(以降、5年ごと)		
18102	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	—	基本目標	市内民営事業所数	事業所	32,235	32,300	経済センサスにおける市内民営事業所数(各年)	直近3回の経済センサスにおける結果の推移を踏まえ、同程度を目標値として設定。	経済センサス	R10年5月頃(以降、5年ごと)		
18103	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	—	基本目標	市内新設事業所数	事業所	7,393	7,400	経済センサスにおける新規把握事業所数(各年)	直近3回の経済センサスにおける平均値を踏まえ、同程度を目標値として設定。	経済センサス	R8年5月頃(以降、5年ごと)		
18104	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	—	基本目標	市内総生産額(名目)	億円	41,364	41,400	市民経済計算における市内総生産額(名目)(各年)	近年の市内民営事業所数などの推移や直近3回の市内総生産額(名目)の推移を踏まえ、同程度を目標値として設定。	市民経済計算	毎年9月頃		
28111	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-1 地域経済の新たな担い手の創出	K P I	新規企業立地件数	件	308	396	企業立地補助制度を活用し、新たに市内で投資を行った企業数(累計)	近年の実績を踏まえ、22件/年の企業立地を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	①企業立地の促進、②産業用地の整備	
28112	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-1 地域経済の新たな担い手の創出	K P I	新規立地企業の納税額	百万円	27,908	33,576	企業立地補助制度を活用し、新たに市内で投資を行った企業の納税額の合計(累計)	近年の立地企業における補助金交付企業の納税額をもとに、1,417百万円/年を目標値と設定。	所管課による集計	毎年8月頃	①企業立地の促進、②産業用地の整備	
28113	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-1 地域経済の新たな担い手の創出	K P I	トライアル発注認定企業数	件/年	5	15	トライアル発注認定事業において商品の認定を受けた企業数(各年)	申請者数及び認定件数の増加を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年10月頃	業種・業態転換や事業創出への支援	
28114	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-1 地域経済の新たな担い手の創出	K P I	スタートアップ支援受給後の創業者数	人	57	200	スタートアップ支援事業を受けた支援対象者のうち、創業した者の人数(累計)	R元～R3年度の創業者向け支援事業の実績平均値に直近の伸び率を考慮し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年5月頃	創業支援	
28115	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-1 地域経済の新たな担い手の創出	K P I	新規立地企業の市民雇用人数	人	16,993	18,913	企業立地補助制度を活用し、新たに市内で投資を行った企業における市民の雇用人数(累計)	近年の立地企業における市民雇用者の実績をもとに、480人/年を目標値と設定。	所管課による集計	毎年2月頃	①企業立地の促進、②産業用地の整備	
28121	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-2 持続可能な地域経済の確立に向けた経営力強化	K P I	産業振興財団の経営相談の件数	件	2,083	2,500	産業振興財団への経営相談件数(各年)	100件/年程度ずつの増加を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年5月頃	①創業支援、②業種・業態転換や事業創出への支援、③企業の変革支援、④安定的な経営維持の支援	
28122	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-2 持続可能な地域経済の確立に向けた経営力強化	K P I	事業承継又は事業継続計画の策定支援を行った企業数	社	1	5	産業振興財団が事業承継又は事業継続計画の策定支援を行った企業数(各年)	1件/年程度ずつの増加を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年5月頃	安定的な経営維持の支援	

第1次実施計画における成果指標一覧

No.	分野	政策	施策	分類	成果指標	単位	R3(2021)末実績値	R7(2025)末目標値	指標の定義(値の算出方法)	目標設定の考え方	数値の把握方法	把握できる時期	関係する実施計画事業	関係する実施計画外事業
28123	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-2 持続可能な地域経済の確立に向けた経営力強化	KPI	産業振興財団の事業可能性評価委員会における採択事業数	件	119	216	産業振興財団の事業可能性評価委員会で審査し、採択された事業数(累計)	直近3年間の平均実績が21.7件/年のため、2.5件/年の増加を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年5月頃	①業種・業態転換や事業創出への支援、②企業の変革支援	
28124	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-2 持続可能な地域経済の確立に向けた経営力強化	KPI	市中小企業資金融資制度「チャレンジ資金」及び「トライアル資金」の実行件数	件	21	40	産業振興財団の中小企業資金融資制度における「チャレンジ資金」及び「トライアル資金」の実行件数(各年)	コロナ禍により千葉県が実施する融資制度に資金需要が流れ、「チャレンジ資金」、「トライアル資金」の実行件数が減少したため、コロナ禍前のR元年度と同程度までの回復を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	毎年5月頃	①創業支援、②業種・業態転換や事業創出への支援、③企業の変革支援	
28131	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-3 雇用の確保・拡大と人材育成の強化	KPI	資格取得費助成の利用事業者数	者/年	—	80	新たに実施予定の資格取得費助成制度を利用した事業者数(各年)	助成対象となる資格(40程度を想定)に対し、2者程度の利用を見込み、目標として設定。	所管課による集計	適宜	企業の人材採用力の向上支援	
28132	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-3 雇用の確保・拡大と人材育成の強化	KPI	中小企業に対する人材育成研修費助成の利用事業者数	者/年	22	90	人材育成研修費助成制度を利用した事業者数(各年)	制度拡充(対象講座拡大)による利用増加を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	企業の人材採用力の向上支援	
28133	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-3 雇用の確保・拡大と人材育成の強化	KPI	就労・転職支援制度を利用して就労・転職につながった人数	人/年	2	15	就労・転職支援制度を利用して正社員に就労・転職した人数(各年)	R3~R4に実施した就職氷河期世代支援事業における目標値(20人)をもとに、実績値も踏まえて目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	就労・転職支援	
28134	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-3 雇用の確保・拡大と人材育成の強化	KPI	アントレプレナーシップ教育に関するコンテンツ提供数	件/年	0	17	ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアムSeedlings of Chibaが実施するアントレプレナーシップ教育に関するコンテンツ数(シンポジウムを除く)及び出前授業実施校数の合計(各年)	R4の実施数(5件)をもとに、年4件ずつ増加することを目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年3月頃	産業人材の育成	
28141	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-4 産学官等の連携強化	KPI	市と大学が連携して実施した取組み数	件	275	326	市と大学が連携して実施した取組み数(各年)	10件/年ずつ増加することを目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	大学との連携	
28142	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-4 産学官等の連携強化	KPI	千葉市・大学等共同研究事業	件/年	2	3	千葉市・大学等共同研究事業の実施件数(各年)	3件/年を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	大学との連携	
28143	8 地域経済	8-1 地域の産業を支え・育てる	8-1-4 産学官等の連携強化	KPI	連携協定締結企業との連携事業数	件	43	65	本市と連携協定を締結しているイオン、千葉銀行及びセブン&アイグループとの連携事業数(各年)	5件/年の増加を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	-	連携協定締結企業との連携推進
18201	8 地域経済	8-2 観光の振興とMICEの推進によりまちの魅力を高める	—	基本目標	観光入込客数	千人	13,832	26,500	観光地点37地点、行祭事・イベント23地点、合計60地点の暦年集計値(各年)	コロナ禍前の水準からの増加を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年1月頃		
28211	8 地域経済	8-2 観光の振興とMICEの推進によりまちの魅力を高める	8-2-1 観光資源の価値向上	KPI	外国人延べ宿泊客数	人泊	27,000	500,000	市内宿泊施設に宿泊した外国人の宿泊数(各年)	コロナ禍による減少が回復することを目指し、目標値を設定。	千葉県観光入込調査	毎年2月頃	インバウンドの推進	
28221	8 地域経済	8-2 観光の振興とMICEの推進によりまちの魅力を高める	8-2-2 MICEの推進	KPI	国際会議開催件数	件/年	0	50	JNTO(日本政府観光局)基準による国際会議開催件数(各年)	コロナ禍前の水準に回復させることを目指し、コロナ禍前の5か年(H27~R元年)の平均値を目標値として設定。	JNTO(日本政府観光局)国際会議統計	毎年12月頃	MICEの推進	
18301	8 地域経済	8-3 農林業の持続的な発展を支える	—	基本目標	市内農業経営体における3,000万円以上の売上規模層の率	%	3.4	6.7	市内の農業経営体のうち、3,000万円以上の売上規模層の割合(各年)	R12に10%を達成することを目指し、R7末の目標値を設定。	農林業センサス	R8年12月頃(以降、5年ごと)		
28311	8 地域経済	8-3 農林業の持続的な発展を支える	8-3-1 農業の成長産業化	KPI	認定農業者の農産物生産量	kg	71,948	81,095	認定農業者における米、野菜等生産物生産量の1経営体あたり平均値(各年)	国の「産地生産基盤パワーアップ事業」の目標の一つである「販売額の増加率10%(3か年)」に準じて、R4未見込みの生産量に対し3%増/年を目指し、目標値を設定。	所管課による集計	毎年6月頃	①スマート農業の地域の農業者への展開、②農業技術師による技術指導の強化、③農業労働力確保支援	
28312	8 地域経済	8-3 農林業の持続的な発展を支える	8-3-1 農業の成長産業化	KPI	地産地消推進店登録数	店	49	60	千葉市地産地消推進店登録制度による登録店数(累計)	コロナ後の経済活動の正常化を見据え、年3件程度の登録店増加を見込み、目標値を設定。	所管課による集計	適宜	地産地消の推進	
28313	8 地域経済	8-3 農林業の持続的な発展を支える	8-3-1 農業の成長産業化	KPI	支援先商品のブランド「千」認定件数	件	0	12	食のブランド「千」の認定制度における認定件数(累計)	第1回・2回の食のブランド「千」への総申請数85件に対し、認定数は19件であり、約2割が認定されている。R5~R7年度の3年間に各年20件ずつ認定申請書のブラッシュアップ等の支援を実施予定であるため、計60件の2割である12件を目標値として設定。	所管課による集計	毎年11月頃	①食のブランド「千」の推進、②農業者や食品関連事業者の経営力向上支援	
28321	8 地域経済	8-3 農林業の持続的な発展を支える	8-3-2 農業の担い手の確保・育成	KPI	市の研修制度等を活用した新規就農者の人数	人	16	54	市の研修制度等を活用した新規就農者の人数(累計)	市の研修制度等により就農した新規就農者数をR9までに80人確保することを目指し、R5~R7は12人/年を目標値と設定。	所管課による集計	適宜	意欲ある農業の担い手の確保・育成	
28322	8 地域経済	8-3 農林業の持続的な発展を支える	8-3-2 農業の担い手の確保・育成	KPI	担い手の農地集積面積	ha	596.93	716.93	貸借及び売買により、認定農業者等の担い手に集積された農地面積(累計)	R9末に776.93haを達成することを目指し、30ha/年ずつ増加するものとして目標値を設定。	所管課による集計	適宜	耕作放棄地の発生防止と利用促進	
28331	8 地域経済	8-3 農林業の持続的な発展を支える	8-3-3 農と森林が持つ多面的機能の保全と活用	KPI	森林ボランティア団体の会員数	人	98	98	里山地区の保全活動を行っている森林ボランティア団体の会員数(累計)	新規入会者が減少し、高齢化と退会者が見られ会員数が減少傾向にあることから、現状維持を目標として設定。	所管課による集計	適宜	-	森林ボランティアの普及啓発
28332	8 地域経済	8-3 農林業の持続的な発展を支える	8-3-3 農と森林が持つ多面的機能の保全と活用	KPI	いずみグリーンビレッジ3拠点来場者数	万人/年	23.8	24.6	富田さとにわ耕園、下田農業ふれあい館、中田やつ耕園を訪れた人の数(各年)	「千葉市農業基本計画(R5~R9)」の数値目標25.0万人の達成に向け、3施設合計で毎年0.2万人の増を目標値として設定。	所管課による集計	毎年5月頃	いずみグリーンビレッジ3拠点の充実	